

新入生宿泊オリエンテーション

OB・OGによるパネルディスカッション



充実した高校生活にするために

▲左から司会の吉田有希さん、山根諒也さん、原健登さん、辰巳友紀さん、金子りささん、山添翔太さん

今回のパネルディスカッションには6人の本校OB・OGが参加し、先輩方は事前に寄せられた新入生の質問に答えられた。また最後には直接質問ができるコーナーが設けられた。「部活と勉強を両立するにはどうすれば良いか」という質問に対し、山根諒也さんは「部活を理由に勉強を疎かにせず、学業を重視するとうまくいく」と話し、原健登さんは「朝の時間を活用し、朝学習の習慣をつけると良い」と答えた。金子りさんは「部活に入ることで隙間時間に勉強する癖がつけられるので、両立を頑張っただけでほしい」と自身の経験をもとにアドバイスを送った。

1年生宿泊オリエンテーション1日目の夕食後に6人の本校OB・OGによるパネルディスカッションが行われた。新入生は先輩からのアドバイスに熱心に聴き入った。

生徒からの質問

パネルディスカッションの後半に行われた直接質問のコーナーでは新入生からの「東鬼祭マジックについて」「勉強中の睡魔に勝つ方法」などの質問で盛り上がった。それらの質問に対して先輩方は「東鬼祭マジックはあります」や「睡魔に耐えることを諦めて時間を決めて寝ていた」「ツボを押したり、目薬を差したりしていた」などと笑顔で答えた。また「東高体操の実演」を頼まれた際は実際に東高体操の一部を行ってみせるなど笑いの絶えない質問コーナーになった。



▲質問をする匠祐亮君(1-4)

イスした。また授業の取り組み方について吉田有希さんは「予習・復習のサイクルを作り、時間内で覚えきるつもりで授業を受けると良い」と話した。どの先輩方も朝早く学校に来て勉強し、時間を有効に使うべきだと強調した。

最後に6人の先輩方から1年生へ伝えたいことが話された。山根さんは「肩の力を抜いて、自分が本当にやらなければならないことだけをやれば良い」と述べ、原さんは「計画性のある人間が勝つので、自分に合った計画を立てるべき」とアドバイスした。また山添さんは「周りを気にせず、自分の目標を超えられるかどうか大切」とメッセージを送った。

先輩から

1年生へ

速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号